



FEEL a SHAKE!

自分で考え行動する大切さ

私は阪神・淡路大震災の被災者です。
18年たった今でもあの時の出来事は鮮明に覚えています。
しかし、言葉で伝えることはとても難しい事です。
私は常日頃防災に関しては気を使っています。
防災グッズを用意したり、知らない建物などに入ると
身を守れる机を探したり、避難計画を考えたりします。
私のような被災者とそうでない人の差とは？
それは実際に体で経験しているという事です。
いくら物や言葉で伝えてもこの情報化社会のなか
すぐに古い情報は抹消してしまうのは人間の常です。
ただ、地震を体験できるだけでなく色々な状況を再現
できるようにいくつものコンテナに状況を作り出します。
例えば、
喫茶店でくつろいでいる時
会社で働いている時
寝ているとき
道を歩いている時 など
様々な状況を想定し一つの街として広い公園などに設置し
全国を巡業し避難能力の啓発活動を行います。